

南阿蘇村農業みらい公社通信 Vol.12

今回は新規就農プロジェクト1期生 吉田さん夫婦の活動報告です。

南阿蘇村農業みらい公社の存在を通じて出会った私たちは、今年4月に結婚しました。そして、ここでの研修を経て来年春に夫婦での独立営農が決定しています。

その南阿蘇村農業みらい公社の研修生1期生として私たちは、昨年から公社が手がけるさまざまな作物の栽培技術習得の研修を開始しました。

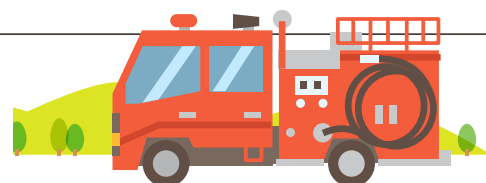
研修1年目となる公社の活動は、作物の基礎的な栽培管理の指導を受けながら畑や田んぼで実践していました。2年目に入った現在では、公社の業務に加え、来年の独立後に栽培する作物を私たち夫婦が主体となり栽培しています。

例を挙げると、甘藷の苗の育苗・植え付け、里芋の植え付け、白ネギの育苗を終えています。これからは独立の準備を進めながら、これらの栽培管理を引き続きおこなっていき、収穫した農産物は公社で販売する予定です。

最後に、県内から移住した私たちはこの村の風景が好きでたびたび訪れていました。いつかは移住することを夢見て。現在では村民となり南阿蘇村の第一次産業を守る担い手として、そして風景を守る当事者として夫婦二人で力を合わせていきたいと考えています。



なんでも 南部分署



救助工作車の更新運用開始について

平成18年から運用してきた救助工作車を令和4年度に更新しました。これまでの救助工作車は、管内の救助事案はもとより、緊急消防援助隊による東日本大震災や平成29年7月九州北部豪雨、県内相互応援隊による熊本地震、令和2年7月豪雨などさまざまな災害現場に出場しました。このたび、長きの役目を終え当消防本部3代目の救助工作車に引き継ぎます。

今回更新したⅡ型救助工作車は、シングルキャブのバス型ベースの車両です。車両の側面には阿蘇神社の楼門、くまモン、阿蘇山などさまざまなデザインを施しています。阿蘇山のデザインは、夜間光に反射する仕様になっております！車両の下部には、ボディの補強および防錆効果のある特殊塗装を施し、引き締まった仕上がりになっています。

車両の後部座席は、バス型特有の広い座席空間が確保されており、出勤途上での装備の着脱などがおこなえます。資機材は、油圧器具、パワーカッター、

チェーンソー、送風機などが充電バッテリー式になり、機動力などが向上しています！

他にも屋上上昇式照明装置やクレーン装置、運転席設置のワーニングモニターなど多くの装備を備えております。災害は起きないことが一番ですが、いざという時、この車両で皆さんの生命、財産をお守りできるよう、隊員も日々訓練に励んで参ります。

ぜひ阿蘇市の消防本部まで車両見学にお越しください！

